
日本村落研究学会 研究通信

No.176 1994.7.10

《事務局》 農業総合研究所 Tel:03-3910-3946
相川・石原・市田・須田 Fax:03-3940-0232
〒114 東京都北区西ヶ原2-2-1

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 本年度大会自由報告の募集案内 | (別紙1)大会案内 |
| 2. エッセイ&レポート | (別紙2)大会事務局宛葉書 |
| 3. ブック・ガイド | |
| 4. 会員異動 | |
-

1. 第42回大会自由報告の募集案内

研究委員会委員長 河村能夫

第42回村研大会は、相山女子学園・大会事務局の下に11月2日・3日の2日間にわたって愛知県南知多町で開催されます。この大会は、「日本村落研究学会」としては第2回目の大会となります。大会の運営基本方針は、学会への改革が決定された際に確認されました「自由報告重視」です。従って、会員諸氏の自由報告が、大会の成否を決定することになります。下記の要領に従って、大会の自由報告を募集いたしますので、会員諸氏の積極的な参加をぜひお願いいたします。

①自由報告を希望する会員は、氏名と報告題目を所属・連絡先と共に、郵便またはファックスにて、8月15日までに、研究委員長河村宛て（〒612 京都市伏見区深草塚本町67龍谷大学経済学部/FAX 075(643)8510）に送付して下さい。

②『日本村落研究学会研究通信』にレジメを掲載しますので、8月31日までに農業総合研究所・村研学会事務局宛（〒114東京都北区西ヶ原2-2-1/FAX 03(3910)4908）に送付して下さい。レジメは1ページ（40字×40行）におさめ、1行目にタイトル、2行目に所属・氏名、3行目を空白とし、ワープロで作成して提出して下さい（従って、レジメ本文は、40字37行となります）。

なお、申し込まれた会員全員に報告をしていただきますが、報告時間・質疑応答時間の配分は報告申込者数の多少によって変わりますのでご了承下さい。参考のために、昨年度の大会では、自由報告の持ち時間は全部で35分でした。学会改革が決定された第40回大会（於：天草）では、大会運営の基本姿勢として、「当分、特定の大会テーマを設けず、自由報告を重視する」こと、および、「複数の会員による自主的なグループ研究を奨励し、成果のあるものについては、そこでのテーマを全体のテーマとする」ことなどが決定されています。この背景には、「学会大会は、本来、会員が自主的に研究成果を発表し、会員間の忌たんのない相互批判・評価によって、その研究を主体的により深化させる場である」との共通認識があったと理解しています。会員名簿に会員の研究分野をつけ加えるために、

会員のインタレスト調査を実施しましたのも、複数会員の自主的なグループ研究を推進するための環境を整えるためです。今大会では、上記の基本姿勢に基づいた大会運営が可能となるものと期待しています。熊谷（松田）苑子会員・細谷昂会員から、インタレスト・グループからの報告としてではないが、インタレスト・グループへ向けてのテーマ・セッションを持つことを企画中との連絡がありました。熊谷会員からのテーマ・セッション案を、参考までに、そのまま掲載いたします。
